

第6次小山市行政改革大綱実施計画 進捗状況調査書

No.	取組項目		担当課・担当係	取組番号	区分				
23	文化財の調査とデータベース化		27年度 文化振興課 28年度～生涯学習課文化財係	1-2-3-005	新規				
基本方針	人口減少社会に対応した効率的で質の高い行政経営	大項目 効率的で質の高い公共サービスの提供	中項目 ICTの活用						
取組概要	文化財の調査を実施し、性格や数量等の把握・分析を行い、文化財データベースの確立を進め、業務の効率化と文化財紹介等の利便化を図るとともに、適切な保護と次代への継承を図る。		達成目標	文化財データベース化による業務の効率化と文化財紹介等の利便化	目標年度 H31				
推進計画		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
先進地事例の調査分析、実務的な方法の検討	活動計画	▲	▲	●					
	実施状況	—	▲	—					
現況写真撮影等、対象メディア資料のデジタル化の実施	活動計画			▲	●				
	実施状況	—	—	—					
文化財マップのデジタルベースの作製	活動計画				▲	●			
	実施状況	—	—	—					
指標名		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	累計・最終目標	累計実績	達成率
文化財データベース化業務の進捗状況(%)	目標値	20.0%	20.0%	50.0%	80.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	実績値	0.0%	0.0%	0.0%					
年度	P 年次計画・目標	D 実施状況・主な取組内容			C・A 課題及び次年度に向けた改善内容				
H27	具体的な構想構築ための先進地事例の調査・分析を実施する。	26年度までの担当課は文化振興課、27年度の担当課は博物館であったが、進捗していない状態である。 進捗度 D 計画より大幅に遅い			具体的な構想構築ための先進地事例の調査・分析などを開始する。				
H28	具体的な構想構築ための先進地事例の調査・分析を実施する。	文化財の類型は多岐に及ぶため、具体的に構想を構築するにあたって特定の分野について先行して試験的に実施するよう検討した。 進捗度 C 計画よりやや遅い			埋蔵文化財に関する情報発信について先行して実施すると共に、他分野の実施手法について検討する。				
H29	実務レベルでの方法論の検討を行う。現況写真撮影等、対象メディア資料のデジタル化を実施する。	多岐に及ぶ分類や調査内容、また他事業との兼ね合いもあり、進捗していない状態である。 進捗度 D 計画より大幅に遅い			先進地事例の調査分析や、他分野の実施手法について検討する。				
H30	実務レベルでの方法論の検討を行う。現況写真撮影等、対象メディア資料のデジタル化を実施する	進捗度							
H31	文化財マップのデジタルベースを作製する。	進捗度							